

中学校（社会科・歴史的分野）「縄文文化と弥生文化」

提案者 仙台市立七北田中学校 津谷 泰公

1 本時の目標

・縄文時代と弥生時代の人々の様子を理解し，比較することによって，社会生活の変化の様子を考える。

2 情報教育の目標

・得た情報から，新たな課題を見付ける。

3 本時の流れ

- (1) 導入 縄文時代の人々の生活やくらしの様子を教科書や資料集で調べる。
- (2) 展開 三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の画像や動画を見て，縄文時代と弥生時代の人々の生活の様子を比較する。
画像，動画のスライドショーを見る。
分かったこと，疑問，新たな発見をワークシートにまとめる。
さらに調べてみたいことを考え，予想する。
- (3) まとめ 分かったことを分かりやすく発表する。

4 活用コンテンツ

IPA 情報処理推進機構 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/k-jda1/index.htm>

「三内丸山遺跡（縄文時代）」、「吉野ヶ里遺跡（弥生時代）」より

たて穴住居の中
に入ってみよう

物見櫓が見える。
卑弥呼がいたのか？



首のない人骨はこ
うして発見された。



縄文語がわ
かります。

5 授業者の感想

- ・画像のスライドショーは繰り返したり，一覧表示にしても良い。
- ・縄文語はうけます。